

YACかわら版 450

硫黄島 新たな変化

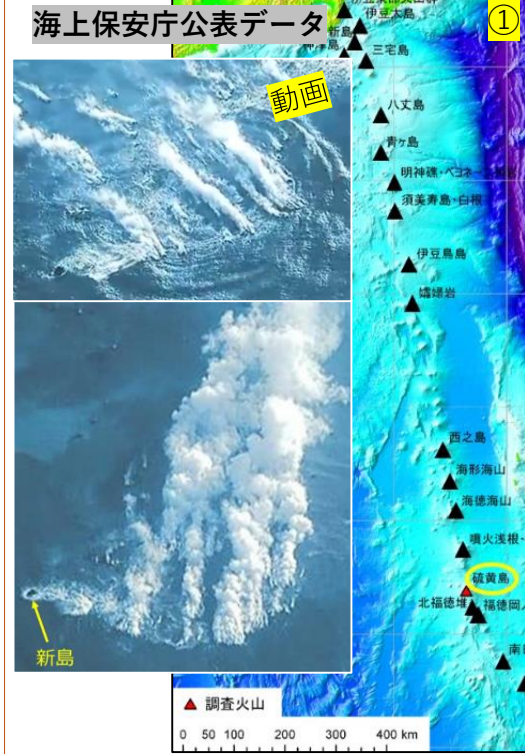
YACかわら版426「硫黄島の新島」は、「硫黄島の新島はどのように変化するのでしょうか。センチネル2の5日毎の観測データとランドサット8-9の8日毎のデータ観測データから目が離せません。」と説明を終えていました。その後新島は観測の都度小さくなっていきました。

3月16日(土)、海上保安庁は、遠隔(えんかく)操縦無人機のシーガーディアンで観測した結果を公表しました。①
この観測データをうけて、硫黄島の変化を「ウェザーニュース」が解説しました。②



海上保安庁の観測によると、去年秋に小笠原諸島・硫黄島の沖の噴火活動で生じた新しい島がほぼ海没し、わずかに見えるのみとなりました。一方で、噴火活動そのものは継続しているとみられ、先月の観測に比べ白煙が多く噴出しています。

<https://weathernews.jp/s/topics/202403/190215/>



https://twitter.com/JCG_koho/status/1769905882115002414

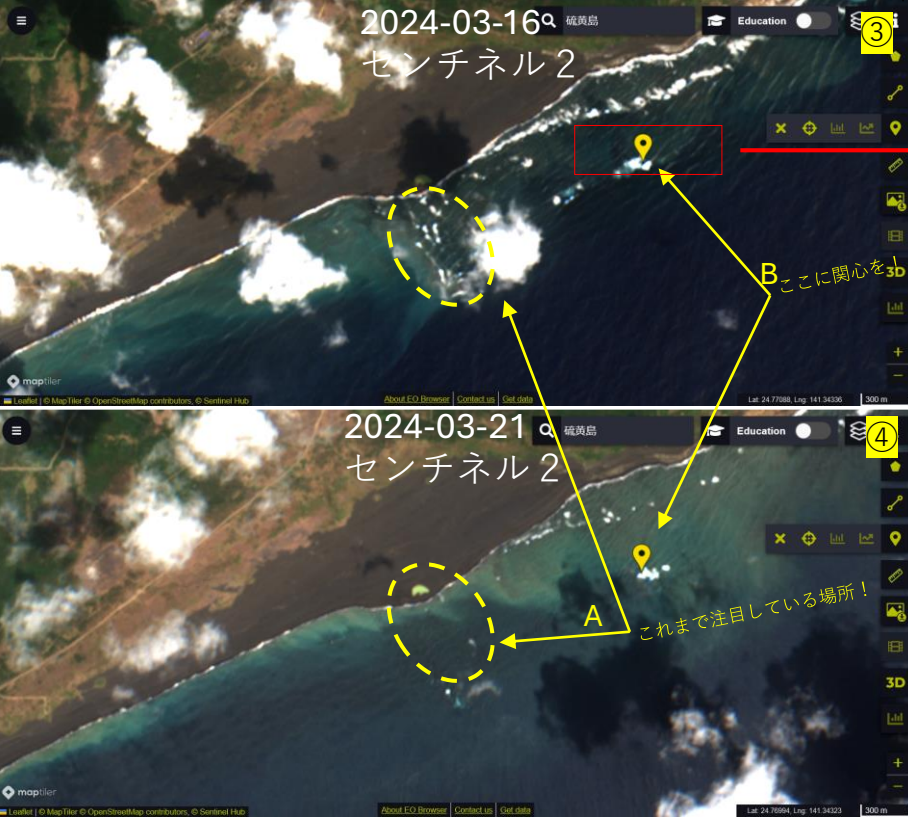
2024/3/16 15:51



海域火山データベース

翁浜沖
海上保安庁 撮影

https://www1.kaiho.mlit.go.jp/kaiikiDB/2015iwojima/photo1_20240316L.png



海上保安庁は3機のシーガーディアンで24時間365日の海洋監視(かんし)可能になっています。多くのセンサーを掲載していますが今回は光学データが公開されています。鮮明な映像です。3月16・21日にセンチネル2が観測しています。③④
Aのくわしい観測が①②です。センチネル2の観測データでは不明な点まで確認できます。Bには、2月20日のセンチネル観測データから存在が推定されるようです。⑤ 今後の観測データを見守りましょう。